

# 腹腔鏡下膵体尾部切除術における術後膵液瘻予防 ～着脱式腸鉗子2本を用いて～

## 1. 研究の対象

当院において2016年1月～2018年7月に膵体尾部切除を施行した方

## 2. 研究目的・方法

膵体尾部切除術後は合併症が起こりやすく、特に膵液瘻(膵臓と腸のつなぎ目から膵液が漏れること)の発生頻度は10～40%といわれています。膵液瘻は術後出血、腹腔内膿瘍などの他の合併症の原因にもなる場合があります。年齢、BMI、膵の厚さや硬度などが膵液瘻のリスク因子として報告されていますが、さらなる検証が必要です。

この研究では、膵体尾部切除術における術後膵液瘻発症のリスク因子の検討および、着脱式腸鉗子2本を用いた腹腔鏡下膵体尾部切除術における術後膵液瘻予防法について検討します。

この研究の実施期間は、倫理委員会承認日～2020年4月です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、BMI、手術時間、出血量、膵の厚さ、糖尿病の既往、SSI、膵液瘻、ドレーンアミラーゼ値、ドレーン留置日数等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

済生会熊本病院 外科 白石 裕大 (研究責任者)

熊本県熊本市南区近見 5-3-1

096-351-8000 (病院代表)

以上